

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	1 単位	学年(コース)	4 学年
使用教科書	大修館『最新高等保健体育』				
副教材等	大修館『最新高等保健体育ノート』				

12月の中央教育審議会答申において「個人及び社会生活における健康・安全についての総合的な『知識・技能』、『思考力・判断力・表現力等』、『学びに向かう力・人間性等』の育成を重視する観点から内容等の改善を図る。その際、少子高齢化や疾病構造の変化による現代的な健康課題の解決に関わる内容や、ライフステージにおける健康の保持増進や回復に関わる内容及び一次予防のみならず、二次予防

1 学習目標

- ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。
- ・健康についての自他や社会の課題を発見し、他者と協働し解決に向かう力を身に付ける。
- ・生涯にわたる自他の健康の増進や環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。

2 指導の重点

- ①授業規律の向上 (時間を守る、課題に対して全力で学習する)
- ②提出率の向上 (保健体育ノート)
- ③小テストによる単元毎の理解の確認

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会と健康」「安全な社会生活」についての知識を身につける。 ・身に着けた知識を実生活に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康や社会の仕組みについて理解したうえで、それをどう生かすかや、その問題点を考える。 ・グループワークを通して、他者の考えを聞き、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会と健康」「安全な社会生活」についての興味を持ち、教科書以外の資料などにも触れる。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の内容を理解している。 ・健康のためにどうしたらいいかを判断し、実行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないことは質問したり、仲間と話し合い理解を深めたりしている。 ・健康のためにどうしたらいいかを判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、副教材を活用し、調べ学習ができる。 ・ノートをしっかり記入している。 ・積極的グループワークに参加している。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言 ・レポートや小テスト ・期末考査 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの様子 ・レポートや小テスト ・期末考査 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ノートの準備 ・ノートやレポートの提出 ・グループワークへの参加のしかた などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業 時数	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	I 現代社会と健康 1 健康の考え方と 成り立ち 2 私たちの健康の すがた	3	わが国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査
5 ～ 8	3 生活習慣病の 予防と回避 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	9	・健康の保持増進のために、「がん」をはじめとする、生活習慣病の知識を身につけ、その予防、治療のため具体的な方法を理解し、実践できるようにする。	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク
9	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	4	・健康の保持増進のためには、喫煙、飲酒に関する適切な意志決定・行動選択が必要であることを理解できるようにする。 ・コカインなどの麻薬、覚せい剤など、薬物の乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解できるようにする。	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク
10	12 精神史間の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの 回復	4	・精神機能は、主として大脳によって統一的・調和的に営まれていることを理解できるようにする。 ・人間には様々な欲求があり、欲求が満たされないときには、不安、緊張、悩み、などの精神の変化が現れるとともに、様々な適応機制が働き、精神の安定を図ろうとすることを理解できるようにする ・人間の精神と体は密接な関連を持っていることを、身体的変化が精神に及ぼす影響と精神的変化が身体に及ぼす影響との両面から理解できるようにする。	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク

11	15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	4	・エイズ・結核・腸管出血性大腸菌感染症や薬剤耐性菌等、近年、感染症の新たな問題が起こっていること、及びその予防には、社会的な対策とともに個人の適切な行動が必要であることを理解できるようにする。	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク
12	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	3	・医薬品の有効性や副作用及びその正しい使用方法について理解できるようにする。 ・人間の欲求の高次元のもの一つとして、自分自身を高め持てる力を最大限に発揮したいという自己実現の欲求であり、また、その充足が精神の健康と深く関わっていることを理解できるようにする	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク
1 2	II 安全な社会生活 ・ 1 事故の現状と 2 発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	4	・交通事故を防止するためには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度及び交通環境の整備などが重要であることを理解させる。 ・交通事故には責任や補償問題が生じることも理解させる	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク
2 3	4 応急手当の意義とその基本 ・ 3 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	4	・傷害や疾病に際しては、心肺蘇生法等の応急手当を行うことが重要であることを理解させる。また、併せて応急手当には正しい手順や方法があることも学ばせる。	a, b, c	授業態度 保健ノート 小テスト 定期考査 グループワーク

計35時間 (50分授業)

6 課題・提出物等

- ・单元ごとに小テストを実施し、生徒の理解度をはかる
- ・最新高等保健ノートを提出させる

7 担当者からの一言

保健分野は、自分の体のことや健康に関する内容の学習です。ですから、生きるうえでの重要な知識を学びます。その学んだことを実際の生活に生かせるように、様々なことに興味を持ち、実践していきましょう。そして、生涯健康で過ごしてもらいたいです。

(担当：藤田 衛)